

大正地区 地域コミュニティ計画

安全で魅力ある住みよいまちづくり



21年度
総合防災訓練



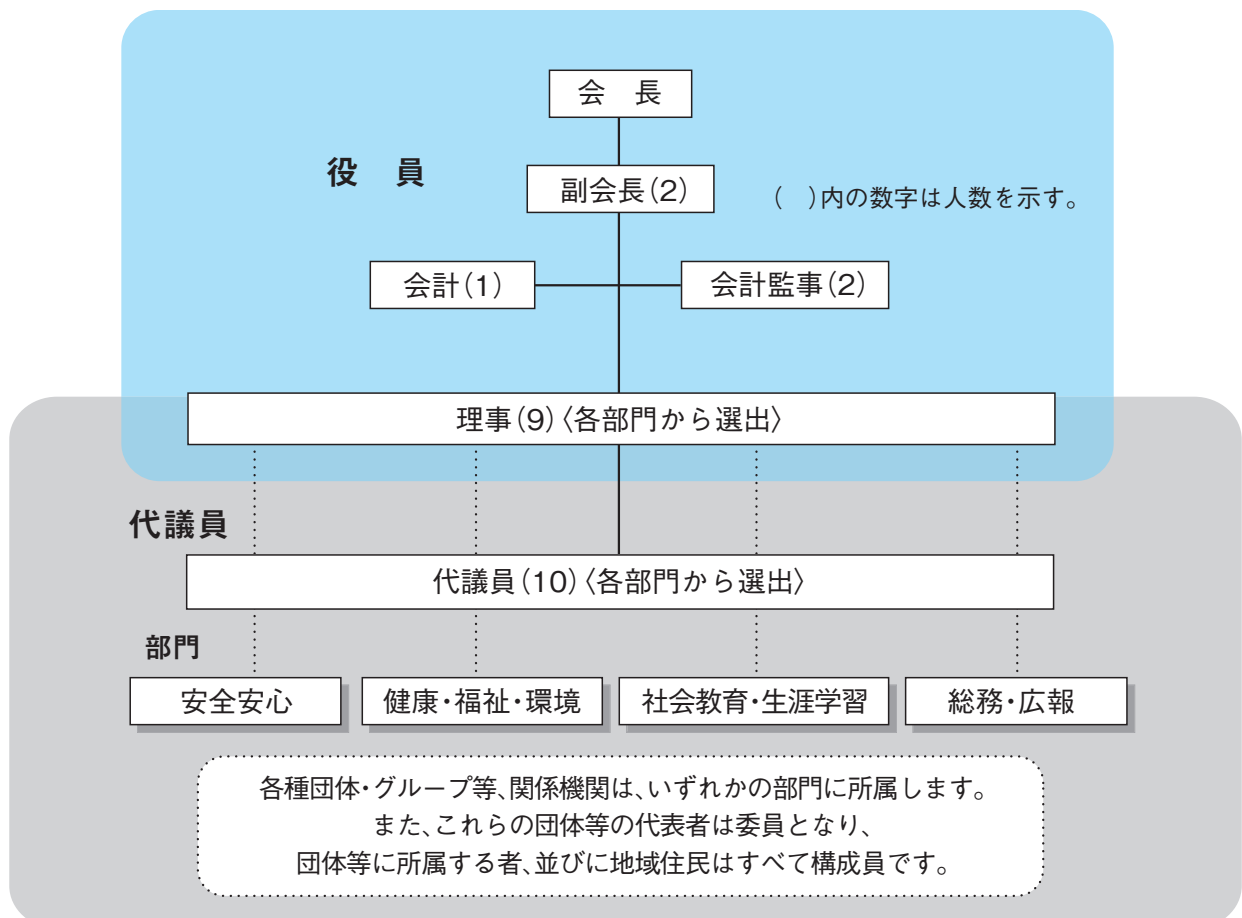
平成 22 年 5 月

ほっと大正まちづくり協議会

目 次

1 まちづくりにおけるコミュニティ計画の位置付け	1
2 大正地区の現状	1
3 まちづくり協議会としての取組み	2
4 まちづくりの理念と目標(第1期)	3
地域コミュニティ計画(第1期)	4
安全安心の現状に関するアンケート結果	7

まちづくり協議会組織



1 まちづくりにおけるコミュニティ計画の位置付け

本計画は、ほっと大正まちづくり協議会（以下「まちづくり協議会」という。）の目的である「安全で魅力ある住みよいまちづくりを推進する」ための取組みの基本となるものです。

地域住民の協力・共助の精神を高め、先ずは地域の一体化を図り団結力を強固にすること、そして一旦発生すると甚大な被害が想定される地震をはじめとした災害に地区をあげて備えることを主眼としています。

2 大正地区の現状

(1) 地理的環境

大正地区は鳥取市街地から千代川を隔てた場所に位置し、農地、工場団地及び住宅団地が混在しています。

農業従事者のほとんどは高齢者若しくは兼業で、最近では大型商業店舗の進出が著しく、また、アパートなどの建設も増加しており、そのため農地の宅地化が進行しています。

さらに、姫鳥線建設に伴い、本地区内に鳥取インターチェンジが設けられたことによる交通事情をはじめとした地域環境の大きな変化も想定されます。

(2) 住民人口の減少

他地区と同様に少子高齢化が進み、年少人口（15歳未満）比率は約13%に対し65歳以上の高齢化率が21%となっています。特に20代、30代の若者が少ないのは、少子化に加えて大学進学や就職のため県外流出者が多いことが原因となっています。

また、各集落においては、空き家なども散見され、戸数・人口減が起っています。

(3) 地域活動の実態

戦後のわが国の一般的な傾向として近隣相互の繋がりが希薄化していますが、本地区としてもその実態は顕著で、小学校区が2分されるなどの問題も加わって住民の団結力が弱い状況にあり、地域活動の盛り上がりには欠ける現状であります。

地域活動の基本は互助精神であり、このことなくして地域づくりはなし得ないので、何よりも地域住民の共助の輪を広げ、強めることが重要であります。

(4) 大正地区における各種団体とまちづくり協議会の関係

本地区には、公民館を中心として、社会福祉協議会、青少年育成協議会、民生児童委員協議会、人権・同和教育推進協議会、老人クラブ、体育会、健康づくり推進員会及び食生活改善推進員連絡協議会がそれぞれの目的に沿った活動を行っています。

まちづくり協議会としては、これらの団体の主体性を尊重しつつ相互連携の下に活動することを原則としています。

3 まちづくり協議会としての取組み

(1) 考え方

- ① 大正地区としての課題が多く存在していることは住民共通の認識だと思います。
- ② まちづくり協議会は、諸課題の解決のため活動計画（コミュニティ計画）を策定して取り組むこととなりますが、設立（平成21年5月）間もない時期でもあり、組織的な活動体制が成熟していません。
- ③ そのため、当初から広範な分野にわたって活動計画を作成しても、その実施・実現が伴わなければ、結局は地区住民のまちづくり協議会に対する期待に応えることができないことになりかねません。
- ④ このためまずは、まちづくり協議会活動の一端でも目に見える形でその成果を示すことが必要と考えます。
- ⑤ 何らかの成果を示すことができれば、まちづくり協議会に対する関心度・認知度が上がることとなり、それをもって住民の参加意識と地域愛が醸成されることが期待されます。

(2) 活動基本方針

この考え方をもとに、まちづくり協議会の当面の事業としては、緊急を要し、かつ、各種団体が単独で取り組みにくい活動分野を重点的かつ優先的に扱うこととして、地域コミュニティ計画を策定することにしました。なお、将来的には順次取組み分野を広げた計画内容にしていきます。

【コミュニティ計画の主題】

- 地域としての纏まりと活性化(地域をあげた行事開催:運動会、夏まつり)
- 安全安心な地域の確立(とりわけ「防災」とする)



4 まちづくりの理念と目標（第1期）

(1) 理 念

- ① 地域住民が主役となるまちづくり
- ② 多様な世代の住民が共に手を携えた協同・共助による安全安心なまちづくり
- ③ 災害に強いまちづくり
- ④ 未来への夢がふくらむまちづくり

(2) 目 標

- ① 住民が自ら考えて地域の問題に取り組むとともに、行政との**協働**体制のもと提案型による課題解決を目指します。
- ② 地区住民の心暖かく強固な結びつきを築き、人に優しいまちづくりを目指します。
- ③ 地域の課題やニーズを把握するため、必要な調査活動等の推進を目指します。

(3) コミュニティ計画

- ① まちづくりの理念と目標を推進・達成するため、別紙「地域コミュニティ計画」により取り組みを行います。
- ② コミュニティ計画は先ずは第1期分として、地域の活性化と安全安心（とりわけ防災）を取り上げることとしますが、今後は健康・福祉・環境・社会教育などの分野に取組みを含め、随時見直しを行うこととします。

協働とは

協働とは、市民同士または市民や市民活動団体などと市が、それぞれの役割を明らかにして、お互いに尊重しながら対等な立場で協力し合うことを言います。

協働の形態は

協働事業には、次のような形態があります。事業の目的や内容に応じて、最もふさわしい形態を選ぶことが大切です

- 共催 ○実行委員会 ○事業協力
- 後援 ○補助・助成 ○委託
- 情報提供・情報交換

鳥取市「協働のまちづくりハンドブック」より

地域コミュニティ計画（第1期）

I 地域コミュニティの充実強化

- (1) 地区活動の基本単位は自治会・区・町内会（以下「自治会」という。）です。自治会住民の連帯意識の醸成と自治意識の高揚を促すこととします。
- (2) 住民同士が年代層を超えて、互いが強い絆で結ばれ心豊かなふれあいができる地域とするため、大正地区全体並びに自治会それぞれが取組むこととします。

（注）本計画において、「地区」とは大正地区を、自治会とは「自治会、区、町内会」を、「地域」とは地区・自治会を表します。

【地区全体としての取組み】

次の活動を推進します。

① 運動会

- 平成22年度から大正地区大運動会をまちづくり協議会の事業として実施します。誰もが無理なく楽しんでいただける種目を増やすとともに、競技種目に自治会対抗団体種目を設けるなど自治会の連帯感の醸成と参加意欲を促して、多くの住民の参加が得られるよう工夫し、より活気と魅力ある運動会にするように努めます。

② 夏まつり

（「ほっとヨイ！ヨイ！夏まつり」：21年度から公民館との共催事業として実施）

- 地区内の各自治会、各種団体等の全面協力のもと、大勢の地区住民が熱気の中での交流を通して絆が強まる祭りとしてします。

③ スポーツ交流会

- グラウンドゴルフなど年代層に関係なく参加できるスポーツ・レクリエーションを企画実施し、世代間交流をも考慮した事業により住民相互のつながりを深めることとします。

④ 交流懇談会等

- 大正地区いきいき交流会など、多くの住民が集い、地域の事柄や課題について気楽に話し合える交流懇談の機会を増やすこととします。

【各自治会の取組み】

各自治会が次のような活動を推進することとし、まちづくり協議会はこれを支援します。

① 祭り・伝統行事

- 自治会それぞれで実施されている風習、祭りなどの伝統行事等を守り、麒麟獅子舞など伝統芸能の継承保存活動を通じた人的関係の強化を図るものです。

② 花見、納涼祭、ミニ運動会、スポーツ・レクリエーション交流等

- 世代を超えた交流の機会を持ち、隣人や班の付き合いを基本とした地域連携の強化を図るものです。

③ 各種共同作業等

- 共同施設の維持管理や清掃等の住民総出による共同作業を通じて、地域に対する愛情を深めるとともに、住民相互の良好な関係の構築を図るものです。

Ⅱ 安全安心な地域づくり

- (1) 安全安心な地域を目指し、住民個々が防災等に関する知識を深め、自助・共助の考えに立脚した適切な行動ができる環境づくりを行います。
- (2) 災害時における地域としての応急対策を整備します。
- (3) 災害に強い地域づくりに努めます。

【防災への取組み】

安全・安心等の現状に関するアンケート（以下「アンケート」という。）の実施結果等をもとに、防災への取組みとして、次の活動を推進します。

① 住民の防災知識の普及と防災意識の高揚のための講演・講習

- 講演会・講習会を通して、住民各自が災害時に対処できるよう、啓発活動等を行います。

② 要援護者支援体制の整備

- アンケートでは、3割を超える方々が「避難の際に、近くに手助けが必要な方がいる」と答えています。高齢者や障がい者など災害時に自力で安全な場所に避難できない方（災害時要援護者）の情報を地域の中で把握し、隣近所で一緒に避難するなどの支援体制を整備します。

③ 自主防災会未整備自治会の解消

- 自主防災会組織そのものの認知度が低い現状にあります。大正地区では19自治会のうち8自治会が未整備であるため、早期に整備できるよう助言並びに支援を行います。なお、整備済みの自治会にあっても、活動が停滞し、又は形骸化している状況にあるものも見受けられるので、組織体制、防災訓練等がより実効性の伴うものとなるよう連携協力します。

④ 防災資機材の整備

- 各自治会の防災機材（被災者救出用道具等）の整備はあまり進んでいない状況にあるので、計画的な整備を促します。

⑤ 防災マップの作成

- アンケート結果からも多くの住民が防災マップ作成の必要性を感じています。防災に関する必要な情報が含まれた各自治会並びに大正地区のマップづくりに取り組みます。

⑥ 総合防災訓練の実施

- 21年度末に実施した地区総合防災訓練を基盤として、組織・体制の整備、参加団体・人数、実施内容の充実等を図り、応急対策への取組みを強化します。

⑦ 地域防災リーダーの養成

- 地域の防災力を向上するためには、防災に関する正しい知識と技能を持った防災リーダーの存在が必要です。現在大正地区には、防災リーダーが不在であります。複数名を設置すべく、その養成を急ぐこととします。

⑧ 家屋の耐震診断等の推進

- 地震の際に人の命や財産を守る上で、住宅の耐震性の確保が重要です。市の補助制度を活用した住宅の耐震診断の実施、耐震改修などを推奨します。

⑨ その他防災に関する活動等

- 防災の日、防災週間の啓発を行います。
- テレビ、タンスなど家具類の転倒・落下防止対策の実施を推奨します。
- 非常持出品などの準備を推奨します。
- 住宅用火災警報器の設置を推奨します。
- 地区内にある古海工業団地の事業所及び大型店舗との接点は現在皆無に等しい状況にありますが、地区の防災を考える上では連携した取組みが必要となりますので、相互間の話し合いが行える関係作りを進めます。



共助・協働の芽

《安全・安心に関するアンケート結果》

平成 22 年 3 月に地域の方々（1,386 戸）を対象にして、災害（特に地震について）への備えの実態や防災意識をアンケートによりお尋ねしました。

平成 22 年 3 月末での回答数は 534 件で回収率は約 39%とデータとしては十分とは言い難い状況ではありますが、集計結果を、次に資料としてお示ししますので、今後の各自治会や各自の取組みの参考としていただきたくよろしくお願いします。

なお、自治会ごとの集計結果は、別途各区長あてお知らせします。

平成 22 年 2 月 27 日

大正地区の皆様へ

ほっと大正まちづくり協議会
会長 土 師 高 文

安全・安心等の現状に関するアンケート調査について（お願い）

今から 66 年前の 1943 年（昭和 18 年）9 月 10 日 17 時 35 分に鳥取大地震が発生し、多くの住人が被災され、亡くなられた人、倒壊家屋や火災などにより壊滅的な被害を受けました。

この地震による家屋全壊は 7,164 戸で、市町村別の住宅全壊率では、当時の大正村が 50%を越えて最大であり、鳥取市と大正村の被害額が被害総額のほとんどを占めていたとのことです。

大正地区は吉岡・鹿野断層に近く不安定な地層の上に位置しています。地震災害はいつやってくるか誰にもわかりませんが、仮に起こった時のことを日頃から意識し、情報の把握、防災への積極的取り組みなどを行えば被害を最小限に防ぐことができると思います。

大正地区では、安全で魅力ある住みよい地域づくりを目指し、昨年 5 月に「ほっと大正まちづくり協議会」を設立したところであります。

本協議会は地域における諸課題を解決するため「まちづくり（コミュニティ）計画」を策定して取り組むこととしていますが、その主テーマに安全安心を据えたいと考えております。

つきましては、今後のまちづくりを進める上での参考とするため、地域の方々に災害（特に地震について）への備えの実態や防災意識をお聞きかせいただきたく、アンケートをお願いするものであります。

何卒、ご理解、ご協力をお願い致します。

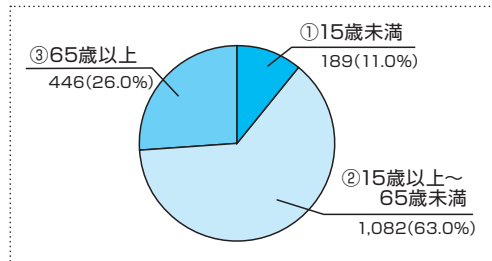
本アンケートの回収は、各区長さんに依頼していますので、地区ごとに指定された期日までに回答を御準備くださるようお願いいたします。（回収期限 3 月 31 日）

アンケート内容及び回答の集計結果
(災害のうち特に地震災害に関して行ったもの)

調査対象戸数	1,386	回答数(件)	534	回答率	38.5%
--------	-------	--------	-----	-----	-------

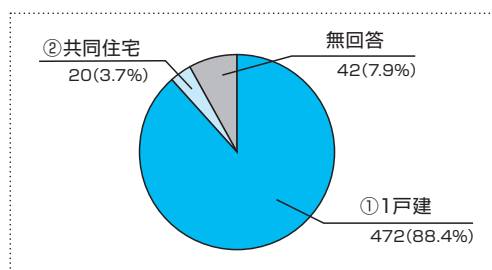
1. 同居家族数等について

① 15歳未満	189人	11.0%
② 15歳以上～65歳未満	1,082人	63.0%
③ 65歳以上	446人	26.0%
計	1,717人	100.0%



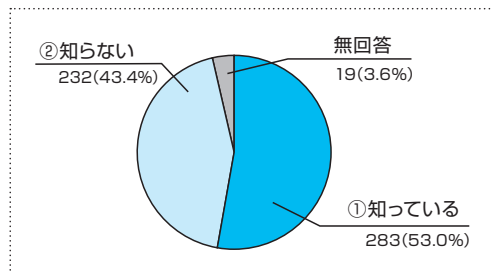
住居の種類

① 1戸建	472	88.4%
② 共同住宅	20	3.7%
無回答	42	7.9%
計	534	100.0%



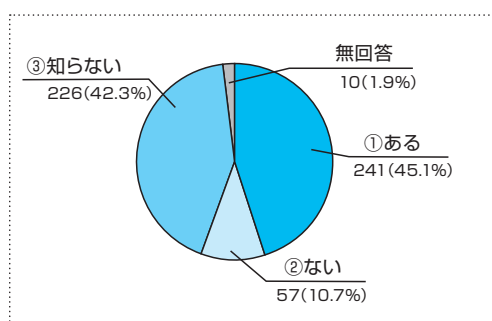
2. 自主防災会組織を知っていますか。

① 知っている	283	53.0%
② 知らない	232	43.4%
無回答	19	3.6%
計	534	100.0%



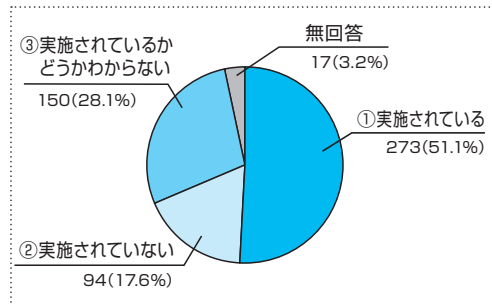
3. あなたの地区で、自主防災会組織はありますか。

① ある	241	45.1%
② ない	57	10.7%
③ 知らない	226	42.3%
無回答	10	1.9%
計	534	100.0%



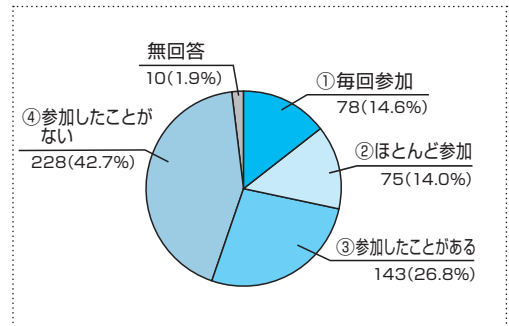
4. あなたの地区で防災・避難訓練は実施されていますか。

① 実施されている	273	51.1%
② 実施されていない	94	17.6%
③ 実施されているかどうかわからない	150	28.1%
無回答	17	3.2%
計	534	100.0%



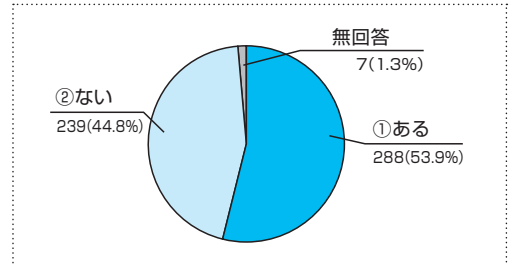
5. 防災・避難訓練に参加したことがありますか。

①毎回参加	78	14.6%
②ほとんど参加	75	14.0%
③参加したことがある	143	26.8%
④参加したことがない	228	42.7%
無回答	10	1.9%
計	534	100.0%



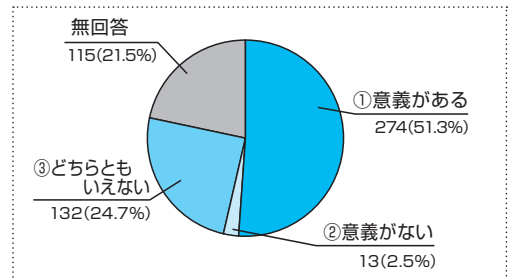
6. 家族の中に救急救命講習を受けた方がいますか。

①ある	288	53.9%
②ない	239	44.8%
無回答	7	1.3%
計	534	100.0%



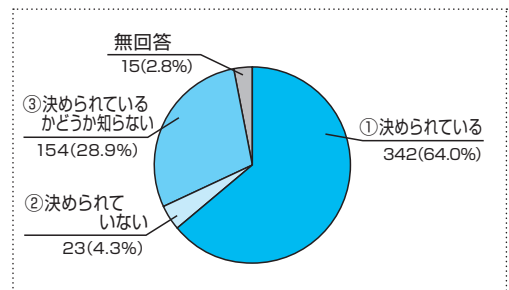
7. 参加された防災訓練は、災害に対して意義があると思いますか。

①意義がある	274	51.3%
②意義がない	13	2.5%
③どちらともいえない	132	24.7%
無回答	115	21.5%
計	534	100%



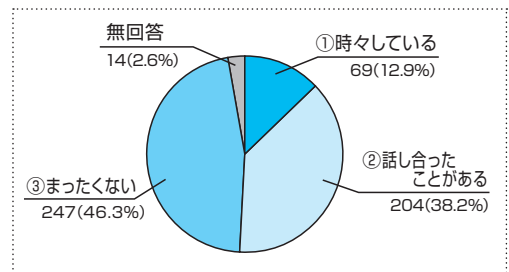
8. あなたの地区で、避難場所は決められていますか。

①決められている	342	64.0%
②決められていない	23	4.3%
③決められているかどうか知らない	154	28.9%
無回答	15	2.8%
計	534	100.0%



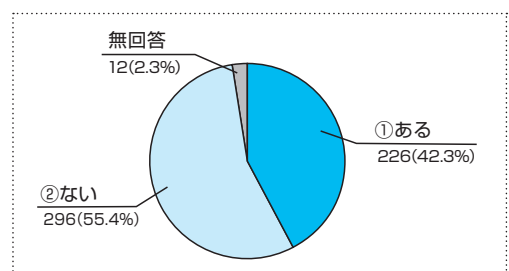
9. 家族と災害時の避難方法や連絡方法について話し合ったことはありますか。

①時々している	69	12.9%
②話し合ったことがある	204	38.2%
③まったくない	247	46.3%
無回答	14	2.6%
計	534	100.0%



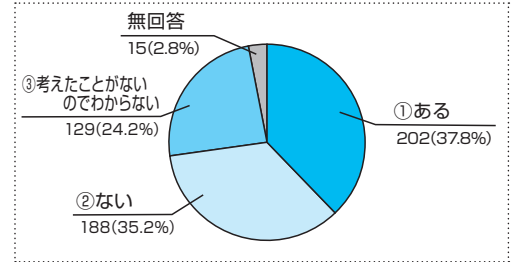
10. あなたは地震を想定した避難経路を考えたことがありますか。

①ある	226	42.3%
②ない	296	55.4%
無回答	12	2.3%
計	534	100.0%



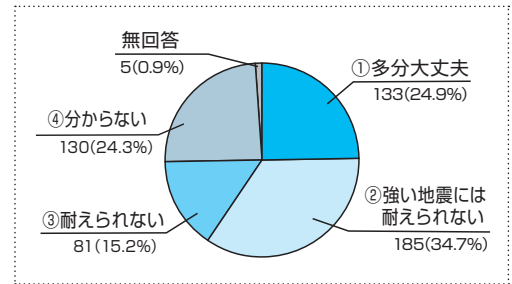
11. 避難時には余震も心配されますが、避難経路上に狭い路地、ブロック塀などの危険箇所と思われる場所がありますか。

①ある	202	37.8%
②ない	188	35.2%
③考えたことがないのでわからない	129	24.2%
無回答	15	2.8%
計	534	100.0%



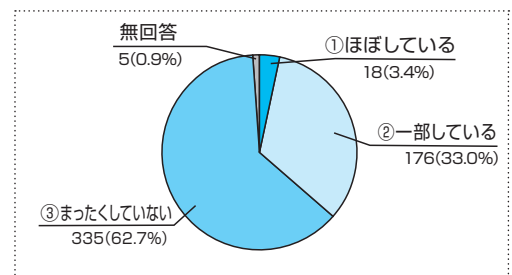
12. 住まいは地震に耐えられると思いますか。

①多分大丈夫	133	24.9%
②強い地震には耐えられない	185	34.7%
③耐えられない	81	15.2%
④分からない	130	24.3%
無回答	5	0.9%
計	534	100.0%



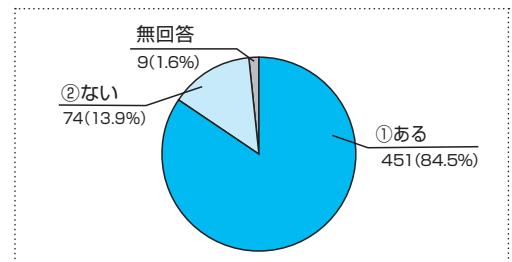
13. テレビ、タンス、戸棚など家具類の転倒・落下防止対策はされていますか。

①ほぼしている	18	3.4%
②一部している	176	33.0%
③まったくしていない	335	62.7%
無回答	5	0.9%
計	534	100.0%



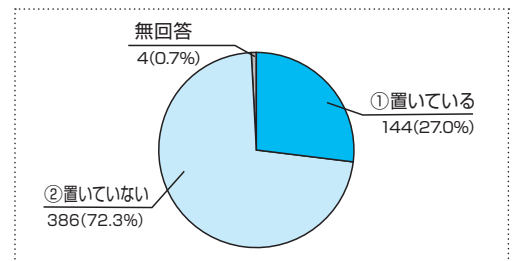
14. 寝室のドアが丈夫な扉の場合、歪みで開かなくなる心配がありますが、ドア以外に脱出できる窓などがありますか。

①ある	451	84.5%
②ない	74	13.9%
無回答	9	1.6%
計	534	100.0%



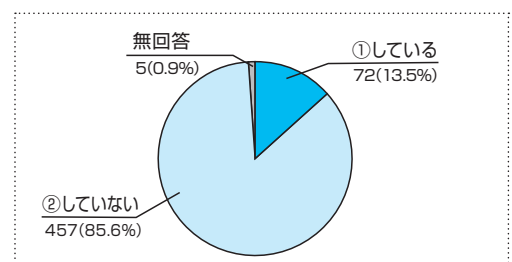
15. 出入口や通路に倒れやすい物を置いていませんか。

①置いている	144	27.0%
②置いていない	386	72.3%
無回答	4	0.7%
計	534	100.0%



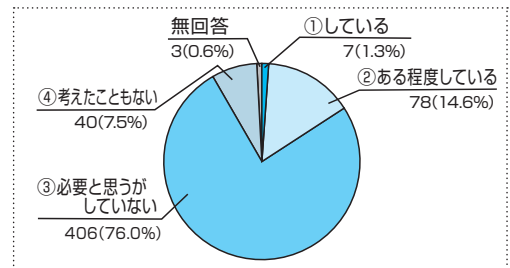
16. 非常持出品の準備はされていますか。

①している	72	13.5%
②していない	457	85.6%
無回答	5	0.9%
計	534	100.0%



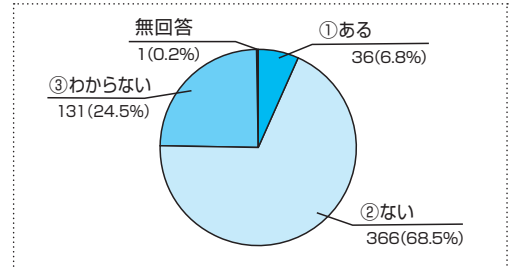
17. 非常時に役立つもの（食料品、水など）を準備しておられますか。

①している	7	1.3%
②ある程度している	78	14.6%
③必要と思うがしていない	406	76.0%
④考えたこともない	40	7.5%
無回答	3	0.6%
計	534	100.0%



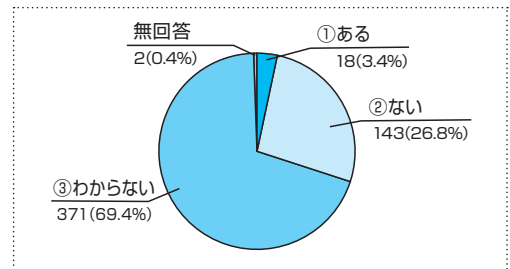
18. 避難生活では、生活用水の確保が不可欠ですが、近くに利用できる井戸はありますか。

①ある	36	6.8%
②ない	366	68.5%
③わからない	131	24.5%
無回答	1	0.2%
計	534	100.0%



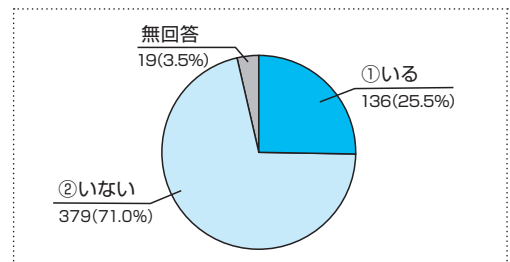
19. 地区に被災者救出用の道具類の設置はありますか。

①ある	18	3.4%
②ない	143	26.8%
③わからない	371	69.4%
無回答	2	0.4%
計	534	100.0%



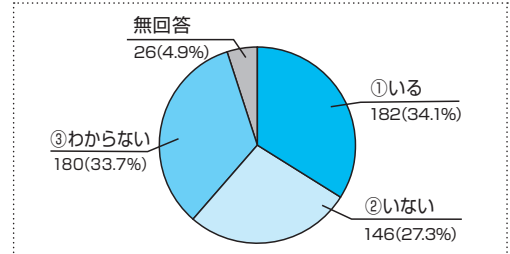
20. あなたの家族に、避難時に手助けが必要な方がおられますか。

①いる	136	25.5%
②いない	379	71.0%
無回答	19	3.5%
計	534	100.0%



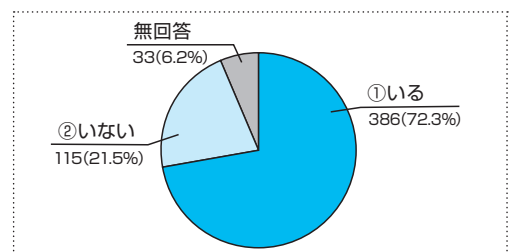
21. あなたの近くに、避難の際に手助け等の配慮が必要と思われる方がいますか。

①いる	182	34.1%
②いない	146	27.3%
③わからない	180	33.7%
無回答	26	4.9%
計	534	100.0%



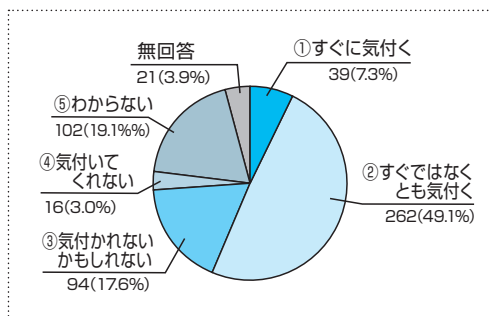
22. 地震で被災したとき、近所に連絡できる人がいますか。

①いる	386	72.3%
②いない	115	21.5%
無回答	33	6.2%
計	534	100.0%



23. 災害で万一逃げ送れた場合、ご近所の方々はそれに気付いてくれると思いますか。

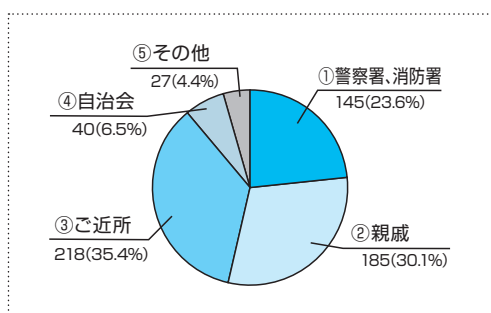
①すぐに気付く	39	7.3%
②すぐではなくとも気付く	262	49.1%
③気付かれないかもしれない	94	17.6%
④気付いてくれない	16	3.0%
⑤わからない	102	19.1%
無回答	21	3.9%
計	534	100.0%



24. 地震で被災された時、ご家族以外で助けを求めるとしたら誰に求めますか。

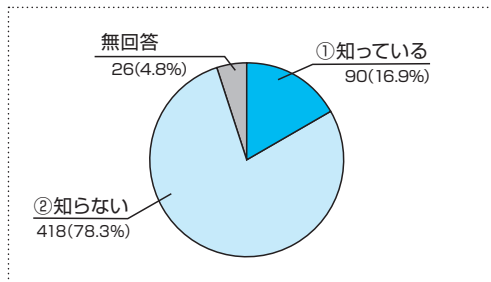
①警察署、消防署	145	23.6%
②親戚	185	30.1%
③ご近所	218	35.4%
④自治会	40	6.5%
⑤その他	27	4.4%
計	615	100.0%
無回答	38	

(複数選択者あり)



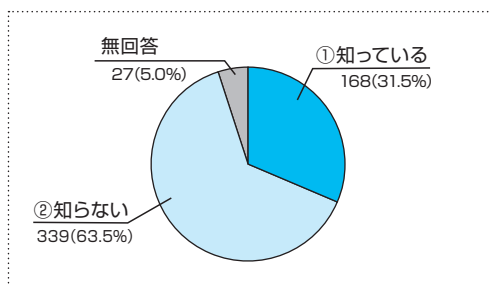
25. 高齢者や障がいのある方を災害から守るため、隣近所の住民相互の助け合いによる災害時要援護者支援制度を知っていますか。

①知っている	90	16.9%
②知らない	418	78.3%
無回答	26	4.8%
計	534	100.0%



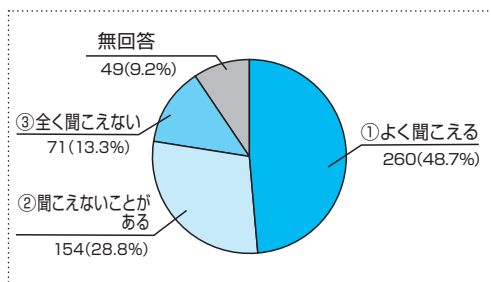
26. 近くの公衆電話の設置場所を知っていますか。(災害時は、一般電話、携帯電話は不通)

①知っている	168	31.5%
②知らない	339	63.5%
無回答	27	5.0%
計	534	100.0%



27. 防災行政無線の放送がよく聞こえますか。

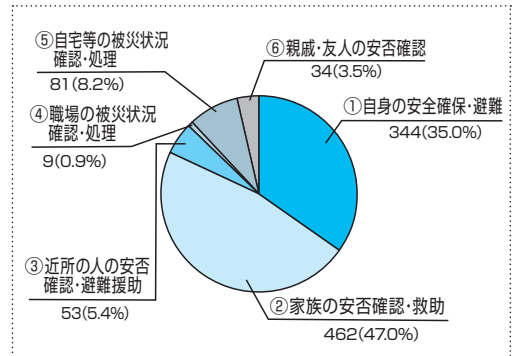
①よく聞こえる	260	48.7%
②聞こえないことがある	154	28.8%
③全く聞こえない	71	13.3%
無回答	49	9.2%
計	534	100.0%



28. 自宅にいて地震で被災したとき、まずは何をしますか。(2つ選んでください)

①自身の安全確保・避難	344	35.0%
②家族の安否確認・救助	462	47.0%
③近所の人への安否確認・避難援助	53	5.4%
④職場の被災状況確認・処理	9	0.9%
⑤自宅等の被災状況確認・処理	81	8.2%
⑥親戚・友人の安否確認	34	3.5%
計	983	100.0%
無回答	23	

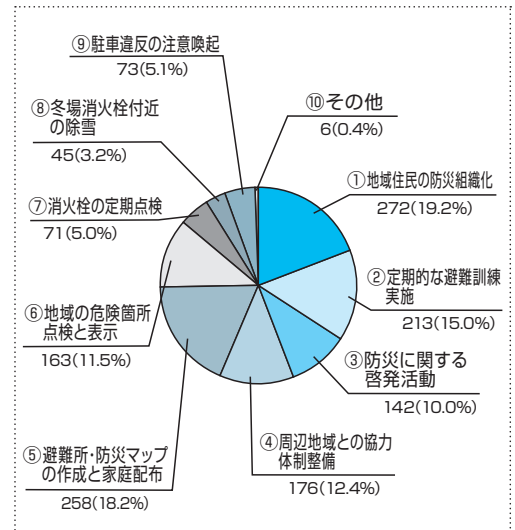
(1つ又は3つ以上の選択者あり)



29. 地域として地震への備えの為にどうしたらよいと思いますか。(特に重要と考える3つを選んでください。)

①地域住民の防災組織化	272	19.2%
②定期的な避難訓練実施	213	15.0%
③防災に関する啓発活動	142	10.0%
④周辺地域との協力体制整備	176	12.4%
⑤避難所・防災マップの作成と家庭配布	258	18.2%
⑥地域の危険箇所点検と表示	163	11.5%
⑦消火栓の定期点検	71	5.0%
⑧冬場消火栓付近の除雪	45	3.2%
⑨駐車違反の注意喚起	73	5.1%
⑩その他	6	0.4%
計	1,419	100.0%
無回答	45	

(2つ以下又は4つ以上の選択者あり)



大正地区 地域コミュニティ計画

平成22年5月25日制定

～ 共助・協働による安全安心な地域づくりを目指す ～

ほっと大正まちづくり協議会

[H]本気モードで [O]おもしろい(楽しい) [T]取組みを

事務局 大正地区公民館

TEL 0857-26-3982 FAX 0857-26-3985

Email: cc-taisho@it.city.tottori.tottori.jp